

# エコアクション21 環境活動レポート



対象期間

平成 28 年 8 月 ~ 平成 29 年 7 月  
( 2016 年 ) ( 2017 年 )

株式会社 柏原鐵工所  
平成 29 年 12 月 作成

# 目 次

1	社長挨拶	1
2	事業活動の概要	2
	会社概要	
	組織図	
	活動体制	
3	環境方針	4
4	活動指針	4
5	活動目標	5
6	環境活動計画	7
7	今年度の目標、実績、評価	8
8	その他の環境活動	9
9	今年度の活動評価（平成28年度）	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災等による緊急時対応マニュアル	13
12	代表者による評価	14
13	来年度に向けて	15

## 社長の挨拶

平成29年10月の突然の衆議院解散によって総選挙が始まり、自民公明政権が3分の2以上の議席を獲得し今までの安倍首相の政策が承認された格好となり大きな変更は無いものと思われます。経済状況は堅調に推移し失業率も改善されていますので、人手不足によって従業員の給料がやっと上がり始めました。東北大震災の復興や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの特需もあり国民の購買力も上昇してもっともっと経済が好循環してくれることを期待しています。

弊社では昨年度“柱の溶接ロボット”を導入して作業の効率化を図り、作業員の配置を変え、工場内の作業の導線も効率よく動けるよう機械の配置も同様に変更して迅速に作業が進むように変えてきました。このように人手不足を補い社会の変化に対応していかなければなりません。品質の向上も重要ですが、営業努力も欠かせないものとなります。又、(ea21)の認証取得もセールスポイントの一つです。

現在の世界では、アメリカ合衆国の“気候変動枠組み条約締結国会議（パリ協定）”離脱で揺れています。地球温暖化に二酸化炭素排出は関連性がない……と云う識者も居ますが、疑わしきは罰せよ、50年後・100年後になってあの時やっておけば良かったでは遅すぎます。日本は日本のできる事を、弊社は弊社で出来る事を行っていきたいと思います。今後も皆様のご協力をお願いしたいと思います。

平成29年12月

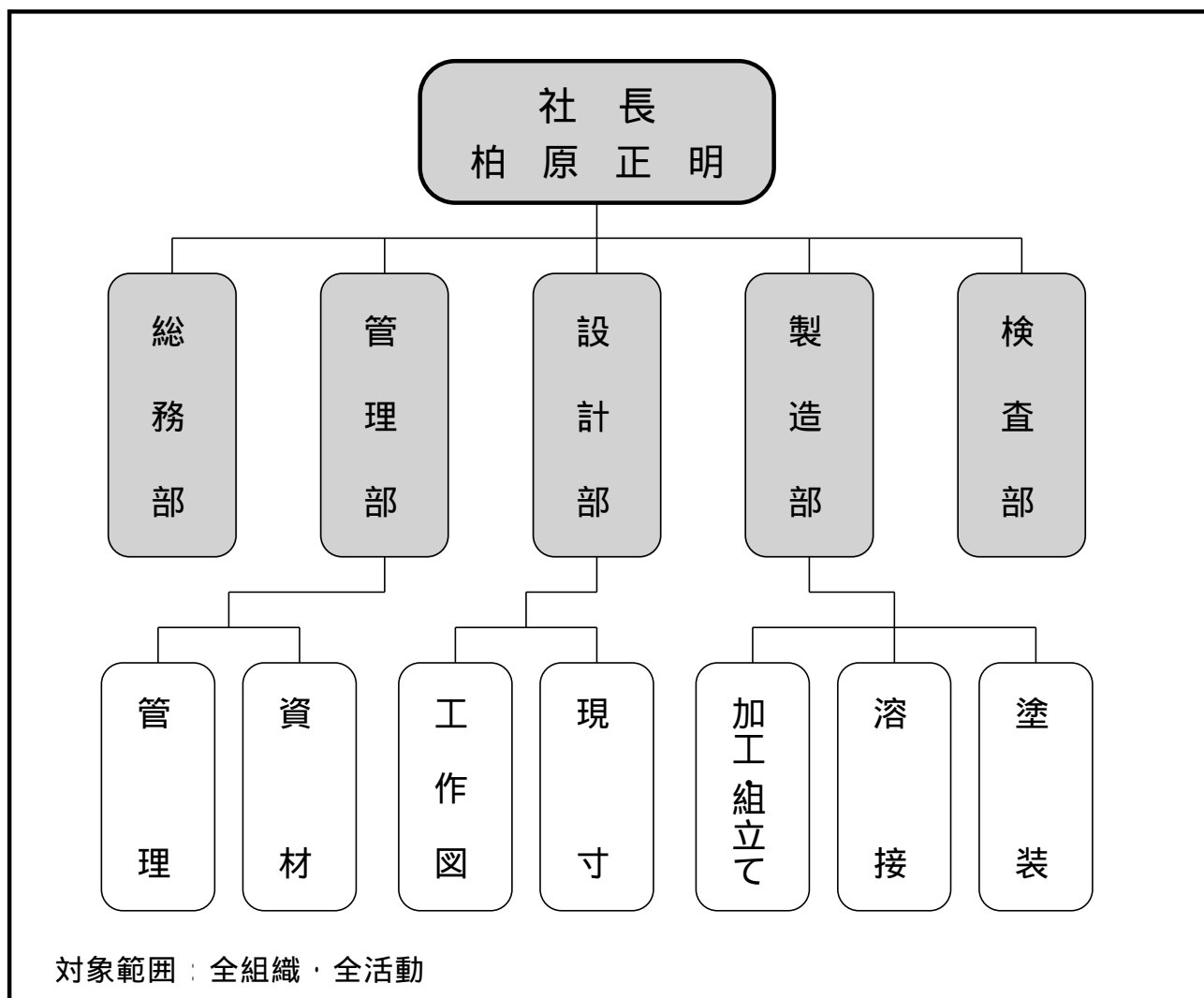
株式会社 柏原鐵工所  
代表取締役社長 柏原正明

# 事業活動の概要

## 会社概要

事業所名 代表者名	株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原正明	
住所・連絡先	〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 web <a href="http://e-kashiwa.com/">http://e-kashiwa.com/</a> e-mail <a href="mailto:info@e-kashiwa.com">info@e-kashiwa.com</a>	
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般-28）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H - 172185	
事業内容	一般建築鉄骨・鉄骨耐震ブレース・鉄骨階段・鉄骨工事一式	
事業の規模	従業員数 26名（平成29年11月現在） 資本金 800万円 売上高 約7億860万円（平成28年度実績） 延べ床面積 2,770.3㎡	
主要取引先 （敬称略50音順）	臼幸産業株式会社 株式会社 国都 近藤建設工業株式会社 株式会社 住金システム建築 第一建設株式会社 東急建設株式会社 株式会社 橋本組	木下建設工業株式会社 五光建設株式会社 清水建設株式会社 瀬戸建設株式会社 東亜建設工業株式会社 戸田建設株式会社 名工建設株式会社
エコ アクション 21	認証・登録番号 0004784 認証・登録日 平成22年3月29日 有効期間 平成30年3月28日 環境管理責任者 中島初江 実務担当者 中島重男 連絡先 <a href="mailto:k.kajiya@ka.tnc.ne.jp">k.kajiya@ka.tnc.ne.jp</a>	 エコアクション21 認証番号0004784

## 組織図



## 環境管理における活動体制

代 表 者	柏原正明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境活動の目標及び計画の承認</li> <li>・ 環境活動全体の評価と見直し</li> <li>・ 環境方針の策定及び改訂</li> <li>・ 経営資源の準備</li> </ul>	
環境管理責任者	中島初江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告</li> <li>・ 環境活動の自己チェックの実施</li> <li>・ 環境方針及び活動計画の見直し</li> </ul>	連絡担当者
実務担当者	中島重男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理責任者の補佐</li> <li>・ 管理データの収集及び比較整理</li> <li>・ 『環境活動レポート』の作成</li> </ul>	

# 環境方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を経営していくに当り、地域との関わりを大切にし、環境に負担をかけないように配慮し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、ごみ削減及び再利用・再資源化また、有害化学物質の低減を最大限に実現できるよう努力し、持続可能な循環型社会づくりを目指します。このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

## 活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すとともに、廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるようにする。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を徹底する。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定して行い、査定・評価し、日々改善に努める。
7	事業活動において、建築基準法及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針を従業員全員に周知徹底します。

平成 28 年 10 月 株柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明

代表者  
印

# 活動目標

弊社では環境活動レポートの基準年を当初20年度としましたが、社会や経済状況の変化等により、基準年を22年度と26年度の2回基準年を変更しました。そして比較項目も昨年の15より“3増1減”と17項目として新たな基準値及び目標値を設定しました。

基準年である平成26年度の

**仕事量を同等にしたうえで、毎年マイナス1%を目標値とする。**

こととしました。

## 【基準値・目標値の設定方法】

各年度の受注物件及び物件数により、目標値に対して実測値が大きく変動してしまうので単純に比較できない。そのため仕事量に直接関係のある鋼材の購入量を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較させます。

年度	鋼材購入量	割合	基準値
平成22年度	3,077.8 t	100.0 %	旧基準年
平成23年度	4,022.8 t	130.7 %	旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成24年度	4,757.2 t	154.6 %	旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成25年度	5,264.0 t	171.0 %	旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成26年度	3,764.2 t	100.0 %	基準年の各データ
平成27年度	3,873.8 t	102.9 %	基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成28年度	4,304.4 t	114.3 %	基準年のデータに14.4%増加した数字が基準値となる

上記表のとおり、基準年を100%と考えると今年（平成28年度）の鋼材購入量は14.4%増加している。よって基準年の各項目のデータの14.4%増の数値が仕事量同等数値（以下『基準値』という）という事とします。

$$\text{基準年の各項目のデータの数値} \times 114.3 \% = \text{基準値}$$

上記計算を行うと各データ数値は基準年と同じ水準となり、比較出来る“基準値”となる。その基準値から2%削減した数値が平成28年度の《目標値》になります。

$$\text{基準年の各項目のデータの基準値} \times 98.0 \% = \text{目標値}$$

これによって、平成28年度の各項目の《目標値》が出て【実測値】と比較出来るようになります。

この方程式を当てはめると平成28年度の各項目の目標値は、次項の表となります。

		平成 26 年度 (2014 年)	平成 28 年度 (2016 年)		平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)
		基準年	基準値 基準年 × 114.3 %	目標値 基準値 × 98 %	目標値 基準値 × 97 %	目標値 基準値 × 96 %	目標値 基準値 × 95 %
電力使用量	(KWh)	186,847.0	213,657.3	209,384.2	- 3 %	- 4 %	- 5 %
水使用量	(m <sup>3</sup> )	478.0	546.6	535.7	- 3 %	- 4 %	- 5 %
コピー用紙	(kg)	831.2	950.5	931.5	- 3 %	- 4 %	- 5 %
化石 燃料	ガソリン (L)	3,442.0	3,935.9	3,857.2	- 3 %	- 4 %	- 5 %
	軽油 (L)	9,505.5	10,869.4	10,652.0	- 3 %	- 4 %	- 5 %
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	235,630.0	269,440.1	264,051.3	- 3 %	- 4 %	- 5 %
	ダンボール (kg)	870.0	994.8	974.9	- 3 %	- 4 %	- 5 %
	埋立てゴミ (kg)	3,152.0	3,604.3	3,532.2	- 3 %	- 4 %	- 5 %
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	188.0	215.0	210.7	- 3 %	- 4 %	- 5 %
	その他の (kg)	971.0	1,110.3	1,088.1	- 3 %	- 4 %	- 5 %
炭酸ガス	(kg)	31,670.0	36,214.3	35,490.0	- 3 %	- 4 %	- 5 %
酸素ガス	(m <sup>3</sup> )	861.2	984.8	965.1	- 3 %	- 4 %	- 5 %
アセチレンガス	(kg)	306.2	350.1	343.1	- 3 %	- 4 %	- 5 %
溶接棒	(kg)	18,380.0	21,017.3	20,597.0	- 3 %	- 4 %	- 5 %
塗料材	(kg)	9,366.2	10,710.1	10,495.9	- 3 %	- 4 %	- 5 %
有害化学物質	(kg)	1,037.0	1,185.9	1,162.1	- 3 %	- 4 %	- 5 %
二酸化炭素	(kg - CO <sub>2</sub> )	164,206.4	187,768.1	184,012.7	- 3 %	- 4 %	- 5 %

平成 29 年度以降の目標値はその年の鋼材購入量により変動します。

#### 目標値について

単純に基準年と対照年度のデータを比較するのでは、その年度の仕事量によって大きく左右されるので比較するのは難しいと判断しました。

この目標値の出し方は、鋼材使用量の増減が仕事量に一番影響されると考え、この増減の割合を他の項目にも反映させて比較しようというものです。この目標値の方が、実測値で比較する目標値より正確に比較出来ると考えました。

今年度の基準年を平成 22 年から平成 26 年に変更しましたが、社会情勢の変化を考え平成 22 年を基準にするには無理があるように思われましたので、このようにしました。

又、比較項目を前年の 15 項目から 17 項目にしました。比較項目を増やすことによって《正確さ》が増すのではないかと思いましたが、内訳は炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス 3 種類を追加してグリーン購入を削除しました。グリーン購入を削除したのは、この項目でカウントされるのが主に事務・文房具用品でありペン 1 本 1 本をカウントするには無理があると判断し削除しました。(別紙で“グリーン購入対象商品購入リスト”を提出しますが、主要品目を P.10 で掲載します。)

# 環境活動計画 (平成28年度)

取り組み事項	取り組み内容 (詳細)
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底 (整理・整頓・清潔・清掃・躰)
	機械設備の定期点検・整備の徹底
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具、その他電化製品の不必要時の消灯・消電
	空調設備の温度設定の徹底 (夏26 以上 / 冬22 以下)
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節
	照明器具・空調設備の定期的な清掃
	計画的な輸送・運搬の実現
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止
	自動車内エアコンの温度設定の見直し
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	自動車定期点検・整備の励行
	廃棄物を出さないために購入時の再検討
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用
	書類等の電子化推進
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底
	3Rの徹底 Reduce (ゴミ削減) Reuse (再利用) Recycle (再資源化)
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底
材料在庫の管理	
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害物質の含有量が少ない、または有害物質が含まれていない塗料を提案する
水道水削減の取り組み	節水に努める
	止水の確認、漏水検査
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入
	防災訓練の実施
	地域社会における緑化運動の推進



# 今年度の目標・実績・評価

		平成 26 年度 (2014 年)	平成 28 年度 (2016 年)		平成 28 年度 (2016 年)	評 価
		基準年	基準値 基準年 × 114.3 %	目標値 基準値 × 98 %	実測値	
電力使用量	(KWh)	186,847.0	213,657.3	209,384.2	157,447.0	
水使用量	(m <sup>3</sup> )	478.0	546.6	535.7	516.0	
コピー用紙使用量	(kg)	831.2	950.5	931.5	691.1	
化石 燃料	ガソリン (L)	3,442.0	3,935.9	3,857.2	2,533.6	
	軽油 (L)	9,505.5	10,869.4	10,652.0	6,569.4	
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	235,630.0	269,440.1	264,051.3	211,280.0	
	ダンボール (kg)	870.0	994.8	974.9	580.0	
	埋め立てゴミ (kg)	3,152.0	3,604.3	3,532.2	14,297.0	×
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	188.0	215.0	210.7	1,825.0	×
	その他の 資源ゴミ (kg)	971.0	1,110.3	1,088.1	1,253.3	×
炭酸ガス	(kg)	31,670.0	36,214.3	35,490.0	16,340.0	
酸素ガス	(m <sup>3</sup> )	861.2	984.8	965.1	588.0	
アセチレンガス	(kg)	306.2	350.1	343.1	264.1	
溶接棒	(kg)	18,380.0	21,017.3	20,597.0	13,560.0	
塗料材	(kg)	9,366.2	10,710.1	10,495.9	20,610.3	×
有害化学物質含有量	(kg)	1,037.0	1,185.9	1,162.1	4,270.7	×
二酸化炭素排出量	(kg - CO <sup>2</sup> )	164,206.4	187,768.1	184,012.7	134,351.4	

評価としては・・・

今回は、平成 26 年度のデータを基準年としてから 2 回目となりました。比較する項目も 15 項目から 17 項目に増やしてみました。

目標値を上回った項目は、5 / 17 であった。前年度と比較すると 4 / 15 で、比較項目数が違うので単純に“悪くなった”とは言えないが、目標値達成率でみると 70.6 % と 73.3 % となり、あまり変化がないと思います。

個別に見ていくと、クリア出来なかった 5 つで、“埋め立てゴミ”が 14t 以上で 4 倍超となっており、これは自宅庭にあった小屋を壊したとき出た『コンクリートがら』が 9t 出た事によるものであり、今年だけの現象だと思います。因みに、ea21 のデータを取り始めてからのを見ますと平均して 6t 超で推移しています。“燃えるゴミ”は、今年のデータは大分多くなっていますが、これも自宅が出たゴミが含まれていると思われる。“その他の資源ゴミ”を見ると、目標値と比べ 165.2kg (15.2%) 増えている。少し多くなったように思えるが、資源ゴミとはいえ出さない方が良いわけで、減らしていかなければ・・・。

この続きは P15 です。

## その他の環境活動

本年度のグリーン活動は、本業が多忙だったものであまり手を掛ける事ができませんでした。少しですが紹介させていただきます。

工場南側入り口横



1年の始まりが8月の為、秋から冬にかけて枯れていきます。年が明けてから花の苗を植えますので、気候が暖かくなってくにつれて花壇が華やかになります。

左の写真は3月中旬ころで忙しい合間に手入れをしました。



今年度より工場の屋根を貸し出して太陽光パネルの設置に協力しました。工場の一番高いところの屋根なので遠くから見ないと分らないと思います。この事によって弊社の照明器具を“LED化”してくれることとなりました。



工場内作業場の電球は以前よりLED電球を使用していましたが、今回事務所棟の蛍光灯もLED化になりました。多数ありますので来年度の電力消費量に期待しましょう。



4月より朝の仕事始めの前に“ラジオ体操”を行う事にしました。仕事の前に身体をほぐすことで頭をシャキッとさせ動きを良くして安全に作業をしてもらおうという狙いで始めました。



今年度の“グリーン購入”で主要な対象商品をリストアップしてみようと思います。平成28年8月～平成29年7月までで38品目ありました。ほとんどが事務用品ですがこれをもっと工場の中の備品にも広げていきたいと思っています。

商 品 名	用 途	メーカー	購入先
リサイクルインク E50BZ (ICBK50用)	インクジェット	ジット	ケイティケイ
リサイクルインク E506PZ (IC6CL50用)	インクジェット	ジット	ケイティケイ
マッキーケア極細つめ替えタイプ	マジック 赤	ゼブラ	MonotaRO
用箋鉄 (クリップボード)		ナカバヤシ	MonotaRO
VERYシャ楽 黒10本	シャープペンシル	三菱鉛筆	カウネット
蛍光マーカー シングル ピンク 10本入り	マーカー ピンク	カウネット	カウネット
CD-Rデータ用 48倍速 1J対応 50枚SP	CD-R	日立マクセル	カウネット
板紙表紙 K2 A4 10枚		コクヨ	カウネット
スラリ 0.7	ボールペン 赤	ゼブラ	MonotaRO
スラリ 0.7	ボールペン 黒	ゼブラ	MonotaRO
フラットファイル樹脂とじ具 A4縦 10冊入り	ファイル 緑		カウネット
スラリ 0.7mm 10本入り	ボールペン 黒	ゼブラ	カウネット
スラリ 0.7mm 10本入り	ボールペン 赤	ゼブラ	カウネット
蛍光マーカー 蛍コート80 橙 10本	マーカー 橙	トンボ鉛筆	カウネット
リパクトナーCT200825 イエロー	プリンタ用トナー		ケイティケイ
リパクトナーCT200822 ブラック	プリンタ用トナー		ケイティケイ
テブラ PROテープ 白ラベル 36mm 黒文字	テブラ対応ラベル	キングジム	カウネット
ホワイトボードマーカー	黒	パイロット	MonotaRO
バインダー MP (クロス張り)		コクヨ	MonotaRO

# 今年度の活動評価 (平成28年度)

取り組み事項	取り組み内容 (詳細)	評価	次年度
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底 (整理・整頓・清潔・清掃・躰)		継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底		継続
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具、その他電化製品の不必要時の消灯・消電		継続
	空調設備の温度設定の徹底 (夏26 以上 / 冬22 以下)		継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節		継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃		継続
	計画的な輸送・運搬の実現		継続
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止		継続
	自動車内エアコンの温度設定の見直し		継続
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	自動車定期点検・整備の励行		継続
	廃棄物を出さないために購入時の再検討		継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用		継続
	書類等の電子化推進		継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底		継続
	3Rの徹底 Reduce (ゴミ削減) Reuse (再利用) Recycle (再資源化)		継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底		継続
有害化学物質削減に関する取り組み	材料在庫の管理		継続
	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、または有害化学物質が含まれていない塗料を提案する		継続
水道水削減の取り組み	節水に努める		継続
	止水の確認、漏水検査		継続
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入		継続
	防災訓練の実施	×	継続
	地域社会における緑化運動の推進		継続

# 該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	
				認定期限	
廃棄物処理法	(一般廃棄物) ・一般廃棄物収集業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	
	(産業廃棄物) ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm x 60cm以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃プラ	マニフェストの期限内返却しない場合 …… 知事へ報告  前年度の交付状況 …… 知事へ報告	契約書 許可書  マニフェスト 管理	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃プラ その他	不適正な処理が行われた場合 …… 知事へ報告	委託業者	
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検	・分離式 パッキ方式 20人	新設・変更の場合 …… 知事へ届け出	新設・変更	
				点検 1回/3ヶ月	
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	
高圧ガス保安法	・アセチレンガス 0.2メガパスカル以上 ・酸素ガス 1メガパスカル以上江 ・液化炭酸ガス	・アセチレンガス	静岡県省庁 …… 知事へ届け出	許可期限	
				保安基準	
建設リサイクル法	・建設副産物 鉄、コンクリート 他	・対象建設工事 ・解体建設工事	静岡県省庁 …… 知事へ報告	マニフェスト 管理	
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トルエン、鉛	静岡県省庁 …… 知事へ届け出	許可期限	
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が対象	・自社に於いて 簡易点検実施 (3ヶ月に1度以上)	企業・法人の管理者が確認		

遵守評価日：平成29年10月31日

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

# 地震、火災等による緊急時対応マニュアル

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	<p>工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙）</p> <p>指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。</p> <p>工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。</p> <p>重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。</p> <p>やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。</p> <p>5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。</p>
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	<p>地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。</p> <p>緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。</p> <p>意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。</p> <p>大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。</p> <p>外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。</p>
（地震の場合）	<p>激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。</p> <p>地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。</p> <p>安全なことを確認の後、保管品の状態確認。</p> <p>保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壌汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。</p> <p>液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。</p> <p>安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>津波警報が発令された場合は、大事なものだけをもち、4階現寸場へ全員避難する。</p>
（火災の場合）	<p>火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。</p> <p>応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。</p> <p>対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、消火活動を続行する。危険と感じたら即座に避難を開始する。</p> <p>消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p>
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり

# 代表者による評価

冒頭でも申しましたが、アメリカ合衆国の“気候変動枠組み条約締結国会議（パリ協定）”離脱で揺れています。温室効果ガスの二大排出国である中華人民共和国とアメリカ合衆国の一方が協定から抜ける事で危機的状況です。中国もまだ発展途上の国であり、14億人を抱える国でエネルギー消費量は増大していきます。これでアメリカが何の対策も取らなければ異常気象は益々世界各国を襲うことが予想されます。日本は 乾いた雑巾を更に絞るように 更なる温暖化対策を進めるよう求められています。

弊社では、今年度工場の屋根を某会社に貸し出しました。その会社が弊社の屋根に太陽光パネルを設置しそこから得た電力を売電する、という事です。契約時に、無償で弊社の約50本の蛍光灯をLEDに交換して頂きました。この影響かは分かりませんが、【電気使用量】は実測値でも昨年より1万kw/h減少しています。次年度は年間を通しての数字を期待したいと思います。【不燃ごみ】がクリアできなかったのは、自宅庭の建物を解体して出たゴミですので、次年度はクリアできるものと思います。【ガソリン】と【軽油】の消費は今年度クリア出来ましたが、この項目は好・不況に関係なく一定程度必要となるものですから、効率の良い運搬と経路の選択、エコドライブを更に進められるよう注意していかねばならないでしょう。問題は【塗料材】と【有害化学物質】が大幅に増大している事です。受注先によって支給された塗料材を使用しなければならない為、その影響が大きいと思います。施工業者にはこれからも有害化学物質含有量の少ない塗料材を推奨していかねば・・・と思います。グリーン購入や工場の緑化、周辺住民との交流や社会貢献等々まだまだ出来る事はたくさんありますので提案していきたいと思います。

全体として12/17クリア出来たという事は、まだまだ課題はありますが、及第点はあげられるのではないかと思います。

今、日本の産業界は長い間積み上げてきた信頼が大きく揺らいでいます。自動車メーカーの検査体制の問題や某製鋼所による製品データの改ざんで製品の安全性に疑問が出てきて《Made in Japan》の信頼性が揺らいでいます。悲しい事ですが、信頼回復のために微力ながら弊社も努力しなければならないと考えています。

ea21の活動は、来年度も目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。これからもよろしくお願い致します。

平成29年12月

株式会社 柏原鐵工所  
代表取締役社長 柏原正明

# 来年度に向けて

P8 からの続きです。

また、今回《炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス》の3項目増やしてみました。今までもデータ取りはしていたのですが、このガス3種がea21の活動に重要と考え比較項目に加えました。データを取り始めた平成19年度は、各21,750kg 1,057m<sup>3</sup> 400kgであり、鋼材購入量が4,194t（H19年度実測値）から4,304t（今年度実測値）と2.6%増加しているのに今年度は各24.9%減 44.4%減 34.0%減となり全て減少している事をみると、エネルギー効率がすごく良くなっている事が窺えます。

塗料材と有害化学物質は関連していて、目標値に比べ塗料材は2倍弱、有害化学物質は3.5倍となり大分増えている事は大いに問題があるが、施工業者から支給された塗料の使用が増加しているので自社で改善することが難しい状況です。弊社で購入する塗料材は、有害化学物質含有量の少ない塗料の推奨を引き続き提案していきたいと思います。

グリーン購入の項目を削除したのは、主に事務所棟で使う用品であり、件数に数えるのが曖昧になると考えました。工場内は照明器具のLED化はすでに進めていますが、溶接機器とか他の機械設備もエネルギー効率のよい物を購入していきたいと思います。また、工場内で使う備品も“グリーン購入対象商品”を探して購入していきたいです。

クリアできた12項目は次年度も引き続きクリアできるよう努力していこうと思います。鋼材使用量によって目標値が変わってきますが、特に《ガソリン・軽油》は過去にクリアできない年度が多々ありましたので注視していこうと思います。又、《二酸化炭素排出量》は5年連続でクリアしています。この事が一番重要な事だと思しますので6年・7年と今後も続けられれば・・・、と思います。

アメリカのトランプ大統領が“パリ協定”離脱を表明して、二酸化炭素排出量抑制の実効性が危ぶまれています。私たちに出来る事を少しでも実行していきたいと思いません。

ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。

最後までお読み頂きありがとうございました。

平成29年12月

ea21 担当者より